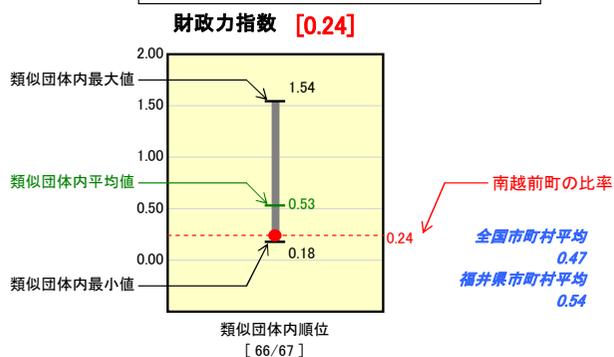


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

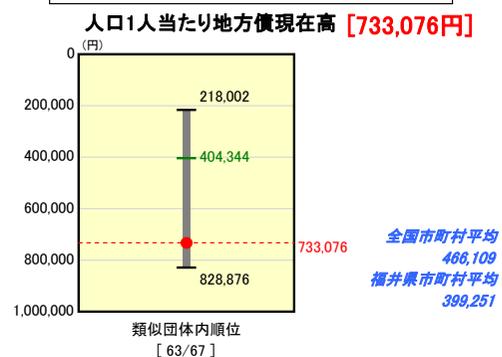
## 福井県 南越前町

人口	12,746人(H17.3.31現在)
面積	343.84 km <sup>2</sup>
歳入総額	15,073,199千円
歳出総額	14,615,508千円
実質収支	254,169千円

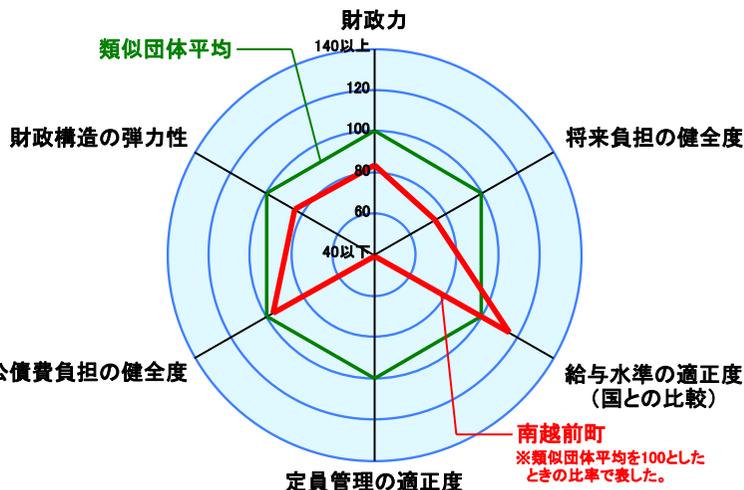
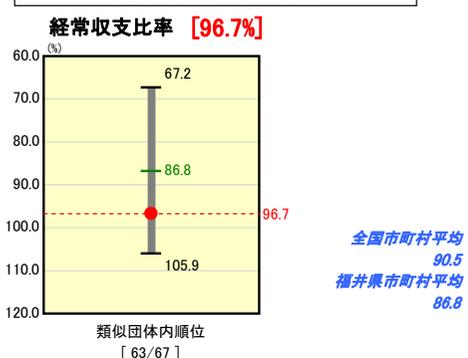
### 財政力



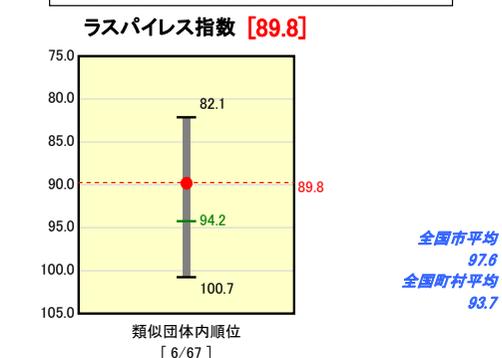
### 将来負担の健全度



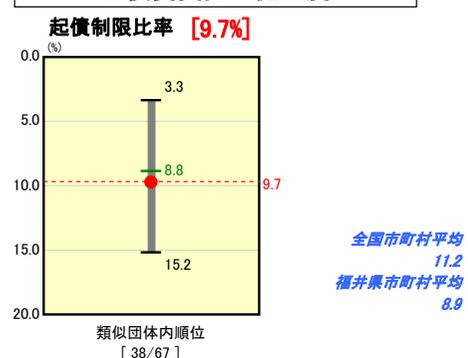
### 財政構造の弾力性



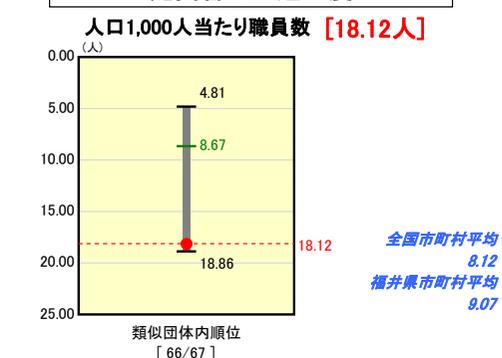
### 給与水準の適正度(国との比較)



### 公債費負担の健全度



### 定員管理の適正度



### 分析欄

※平成17年1月1日に、旧南条町、旧今庄町、旧河野村が合併し、南越前町となった。

●**財政力指数**  
町内に中心となる産業がないことや人口の減少及び高齢化の進展により町税収入は減少してきており、指数は類似団体平均を大きく下回っている。今後も大幅な収収の増加は見込めないのが現状ではあるが、若者定住施策や産業の育成施策等により、町税の増収に努める。

●**経常収支比率**  
介護保険・老人医療・農業集落排水事業への繰出金の増加と国県負担金の廃止による人件費・物件費への充当一般財源の増加に加え、普通地方交付税及び町税の減少により、比率は類似団体平均を大きく上回っている。平成17年度には公債費の減少などにより、93%程度まで改善する見込があるが、今後は、町村合併の効果である職員の削減や経常的な経費の削減に努め、類似団体の水準まで改善したい。

●**起債制限比率**  
償還時に地方交付税措置のある有利な地方債を活用して事業を行ってきたことにより、平成15年度までは8%台で推移してきたが、平成16年度に一部の起債の一括償還を行ったことにより起債制限比率が1%上昇し、類似団体平均を若干上回っている。一括償還を除いて考えると、類似団体の平均以下となるが、今後も規律ある地方債発行を行い、現在の水準を維持したい。

●**人口1人当たり地方債現在高**  
過疎対策のための事業や義務教育施設の整備事業等に多額の地方債を発行しているため、地方債残高は類似団体平均の約1.8倍となっている。しかしながら、交付税措置のある起債が多いため、公債費負担の健全度を表す起債制限比率が示すように、町財政への負担は、数値ほど大きくはない。今後は、新町建設計画に基づいた事業の実施が見込まれるが、合併特例債などの財政的に有利な起債を活用しながらも、その総額については抑制するよう努める。

●**ラスパイレス指数**  
大卒者の初任給が国と比較して低いこと、また、町村合併により管理職数が減ったこと等により、指数は低い水準となっている。今後は、各種手当、特に特殊勤務手当の見直しを行い、より一層の給与の適正化に努める。

●**人口1,000人当たり職員数**  
合併前の旧町村において、今後の行政需要の動向や退職職員の推移等を見極めながら、それぞれ定員適正化目標を掲げ、適正化を図ってきたところである。今回の合併により、類似団体平均を上回ったが、定員適正化計画に基づく退職者に対しての採用者抑制等により、今後5年間で12.1% (24名)削減する計画である。